

水がささえる豊かな社会

2023

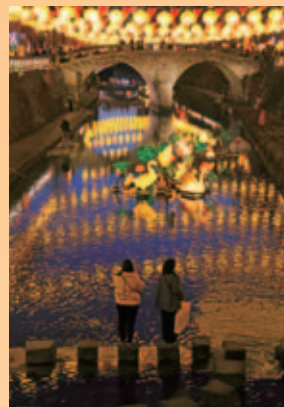
水とともに

秋号

特集

令和5年7月豪雨時における
寺内ダムの洪水調節効果について

第38回
“水とのふれあい”フォトコンテスト
入選作品



タイトル：街の誇り
撮影場所：長崎市めがね橋
撮影者：桑名 弥栄

CONTENTS

- 02 特集
令和5年7月豪雨時における
寺内ダムの洪水調節効果について
- 06 トピックス 早明浦ダム再生事業起工式を開催
- 08 トピックス
水の日・水の週間の紹介
- 16 トピックス
美しい秋を発見しよう！
機構施設周辺の魅力的な風物詩を紹介
- 18 シリーズ 第1回 次代をつなぐ力
- 20 連載 気象キャスターが解説！天気のみカタ
第34回 私のアメダス巡礼の1ファイル
千葉県我孫子アメダス
気象キャスターネットワーク 水越 祐一
- 22 トピックス
令和元年台風19号利根川洪水に想う
- 23 水機構ニュース
- 24 モニター様の声・施設紹介・編集後記

令和5年7月豪雨時における寺内ダムの洪水調節効果について

初めての緊急放流に至るも下流域の洪水被害を軽減

令和5年7月7日から九州北部を中心に停滞した梅雨前線に伴う降雨は、10日未明からの線状降水帯の発生とその後の停滞により記録的な豪雨となり、筑後川の中下流域に大きな被害をもたらしました。寺内ダムの流域でも、最大時間雨量69mm、総雨量約510mmを記録し、ダムへの流入量は平成29年九州北部豪雨時に次いで2番目となる最大毎秒530立方メートルに達しました。昭和53年の管理開始から45年目で初めてとなる緊急放流にまで至るも、洪水調節容量をほぼ使い切るギリギリの防災操作により、下流域の洪水被害の軽減に効果を発揮しました。未だ予測が難し

いとされる線状降水帯の発生、時々刻々大きく変わる降雨の状況、緊迫した洪水警戒体制下で、寺内ダムの洪水調節機能を最大限発揮するために実施した防災対応を振り返ります。

1. 寺内ダムの概要

寺内ダムは、洪水調節、流水の正常な機能の維持並びにかんがい用水の補給及び水道用水の供給を目的として、水資源開発公団(当時)が福岡県朝倉市の筑後川支川佐田川に建設した堤高83m、総貯水容量1、800万立方メートルを有する中央遮水壁型ロックフィルダム型式の多目的ダムです。



寺内ダム

◆寺内ダムの洪水調節計画

寺内ダムでは、「平常時最高貯水位(EL・121.5m)」から「洪水時最高水位(EL・131.5m)」までの空き容量700万立方メートルを利用して洪水調節を行います。この間、ダムからの放流量を計画最大放流量(毎秒120立方メー

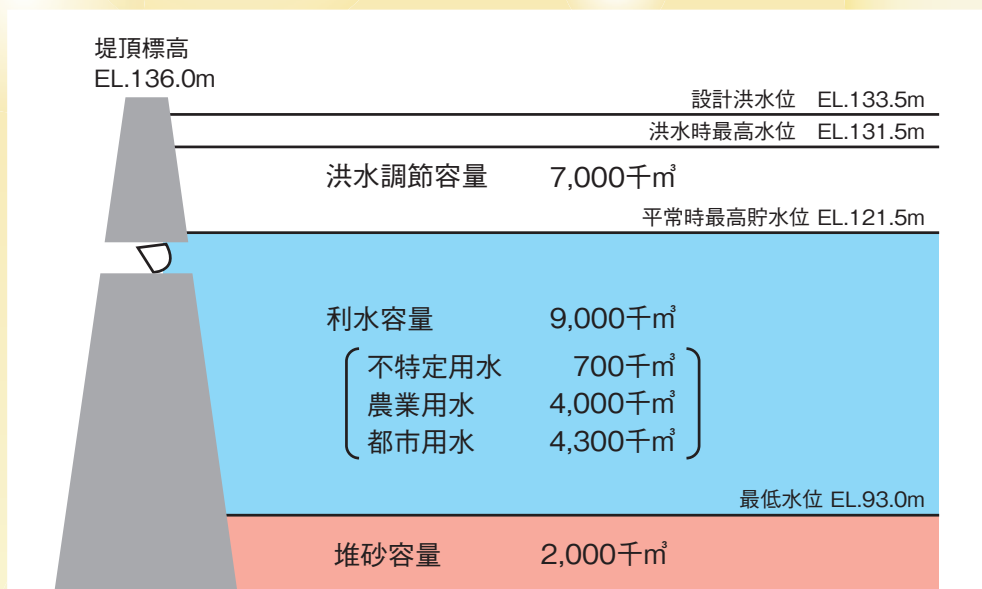
トル)以下に抑えて、ダム下流域の浸水被害の軽減を図る計画になっています。計画規模(ダムの計画段階で洪水調節容量を決めた洪水の規模)相当の洪水であれば、洪水調節中のダム貯水位の上昇は洪水時最高水位以下に抑えられ、そのまま洪水調節が終了します。

しかし、計画規模を超えるような洪水が流入した場合には、ダムの貯水位が洪水時最高水位を超

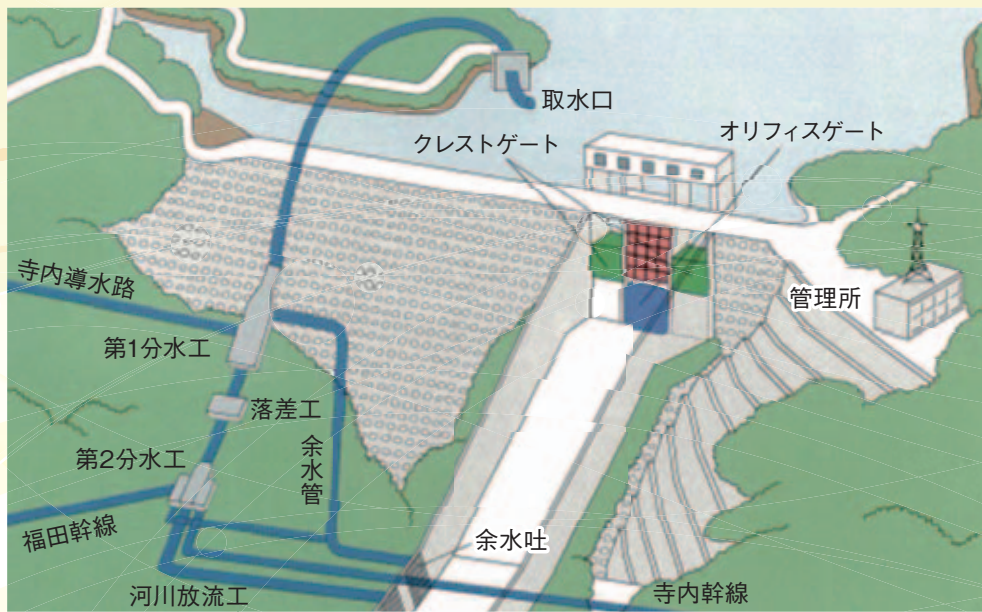
える可能性が生じます。この場合は、貯水位をダム構造設計上の許容水位(設計洪水水位：EL・133.5m)以下に抑えなければなりません。このために、所定の水位(洪水調節容量の8割に相当する水位：EL・129.80m)から、ダム流入量にダム放流量を徐々に近づけて貯水位の上昇を抑える異常洪水時防災操作、いわゆる「緊急放流」を実施することになります。



寺内ダム位置図

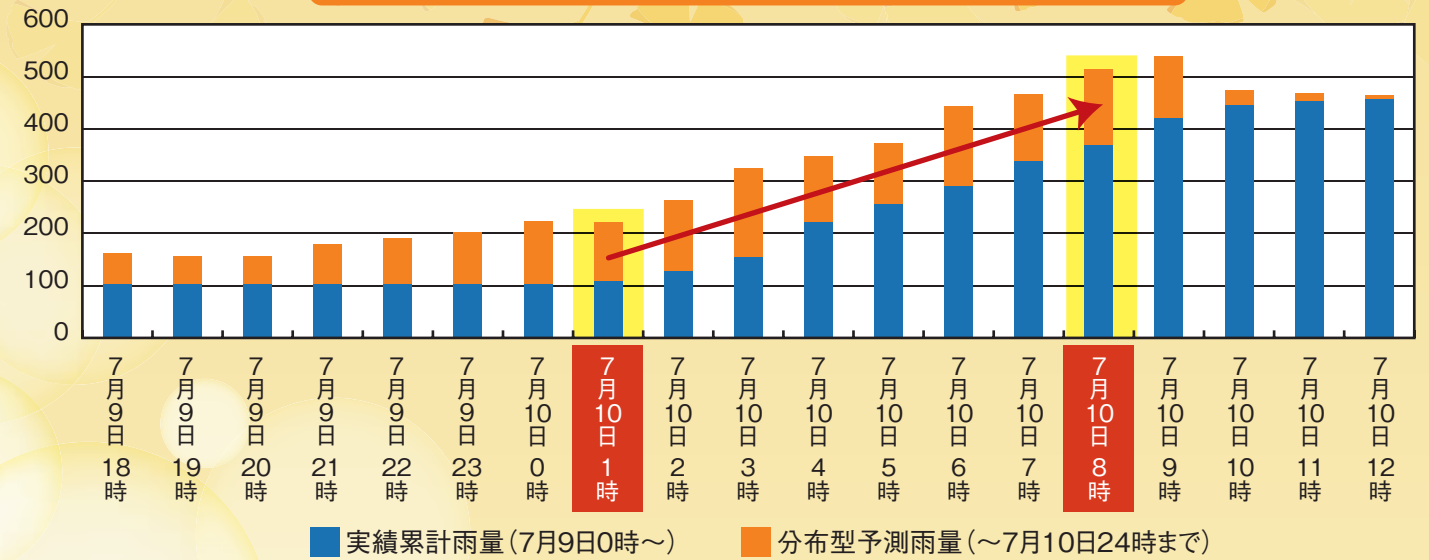


貯水池容量配分図



ダム堤体概要図

寺内ダム流域の実績雨量と予測雨量(2023年7月9日～10日)



寺内ダム流域降雨状況図

2. 令和5年7月豪雨時における寺内ダムの防災操作と洪水調節効果

◆気象概況

寺内ダムが立地する九州北部では、7月7日21時から前線起因の強い雨が断続的に降り続き、10日未明には線状降水帯が発生しました。寺内ダムを管理する筑後川上流総合管理所寺内ダム管理所では、6月30日午前6時より洪水警戒体制(第一警戒態勢)を執り、気象水象に関する情報収集を行うとともに、寺内ダム流域の降雨・流出予測を繰り返し、事前放流の実施の必要性を確認するなどの警戒に当たっていました。

10日未明の線状降水帯の発生とその後の停滞に伴い、寺内ダム流域における降雨量は時間とともに増加しました。9日0時からの累積降雨量(実測値)と10日24時までの予測値を合わせた総雨量の推移を棒グラフで色分けして示しますが、10日午前1時の時点では200mm程度でありましたが、午前3時に300mm超、午前6時に400mm超、午前8時には500mm超と大きく上振れしました。午前5時前後の予測からは、寺内ダムが洪水調節中に所定の水位を超え、異常洪水時防災操作(緊急放流)に至る可能性も試算されました。

実際に、寺内ダム流域では、7月10日午前1時から11時の10時間で346mmの非常に激しい降雨を観測、降り始めからの総雨量は約510mmに達する豪雨となりました。これは、平成29年7月に筑後川中下流域に大きな被害をもたらした九州北部豪雨で観測した総雨量(426mm)を超えており、地元の朝倉市では、10日午前6時40分に

大雨特別警報(土砂災害)、10日午前7時40分に大雨特別警報(浸水害・土砂災害)が発令される非常事態となりました。

◆寺内ダムの洪水時防災操作

今回の出水では事前放流の実施判断に資する基準雨量(6時間で144mm)を超える予測がなかったことから、事前放流を実施することなく、10日午前2時40分にダムへの流入量が洪水調節開始流量(毎秒90立方メートル)を超過したため、貯水位を制限水位以下に維持する(ダムへの流入量にほぼ等しい水量をダムから放流する)操作から、流入量の一部を貯留する洪水時防災操作に移行しました。ダムからの放流量が計画最大放流量(毎秒120立方メートル)に達した時点からは、毎秒120立方メートルの一定量放流を継続しました。この間、ダム下流の金丸橋(ダムから約8.5km下流の地点)の河川水位は、避難判断水位(3.50m)近くまで上昇したものの、それ以上の水位上昇は抑えられました。

◆寺内ダムの緊急放流

10日午前5時前後の降雨流出予測の結果から、緊急放流に至る可能性が高まりました。このまま洪水調節を続けられ、午前11時前後には洪水調節容量の8割を使い切り、さらに洪水時最高水位を超えることが予想されたことから、午前5時40分に「緊急放流5時間前情報」を関係機関に発出し、沿川住民の避難措置を図るように依頼しました。午前8時30分には「緊急放流3時間前通知」を発出しましたが、直

3. 最後に

寺内ダムでは、洪水調節機能の更なる向上を目指して、令和5年度からダム再生事業に着手しています。この事業では、非常用洪水吐きの改造を行うなどして、ダムの洪水調節容量を700万立方メートルから800万立方メートルへ増大させて治水機能の向上を図り、下流域の洪水被害の軽減効果を高めていく計画です。仮に寺内ダム再生事業が完成し、別途計画されている河川整備が完了すれば、今回のような大規模な洪水に対しても、寺内ダムでは緊急放流に至ることなく効果的な洪水調節が可能と推定しています。

今後も、関係機関等との連携を図りつつ、地域の方々理解を得ながら、寺内ダムの適切な管理とともに、ダム再生事業の計画的かつ的確な進捗と事業効果の早期発現を目指していきます。

前の1時間に50mmを超える強い雨の影響により、緊急放流開始時刻(EL:129.80mの到達時刻)が想定より2時間も早まることと通知直後の降雨流出予測で明らかとなりました。このため、急遽、午前8時50分に「緊急放流1時間前通知」を発出して、沿川住民の避難を重ねて呼びかけるとともに、クレストゲートからの緊急放流に備えました。昭和53年の寺内ダム管理開始以降、45年目で初めての緊急放流となりました。

通知から1時間後、午前9時50分の時点で、ダム貯水位は、既に所定水位(治水容量の8割容量相当水位)を超過していたため、8.5割容量相当水位からの緊急放流の開始を判断しました。このような状況を想定し、寺内ダムでは、8.5割及び9割容量相当水位を緊急放流開始水位とする貯水位・クレストゲート開度テーブル表をあらかじめ用意していました。

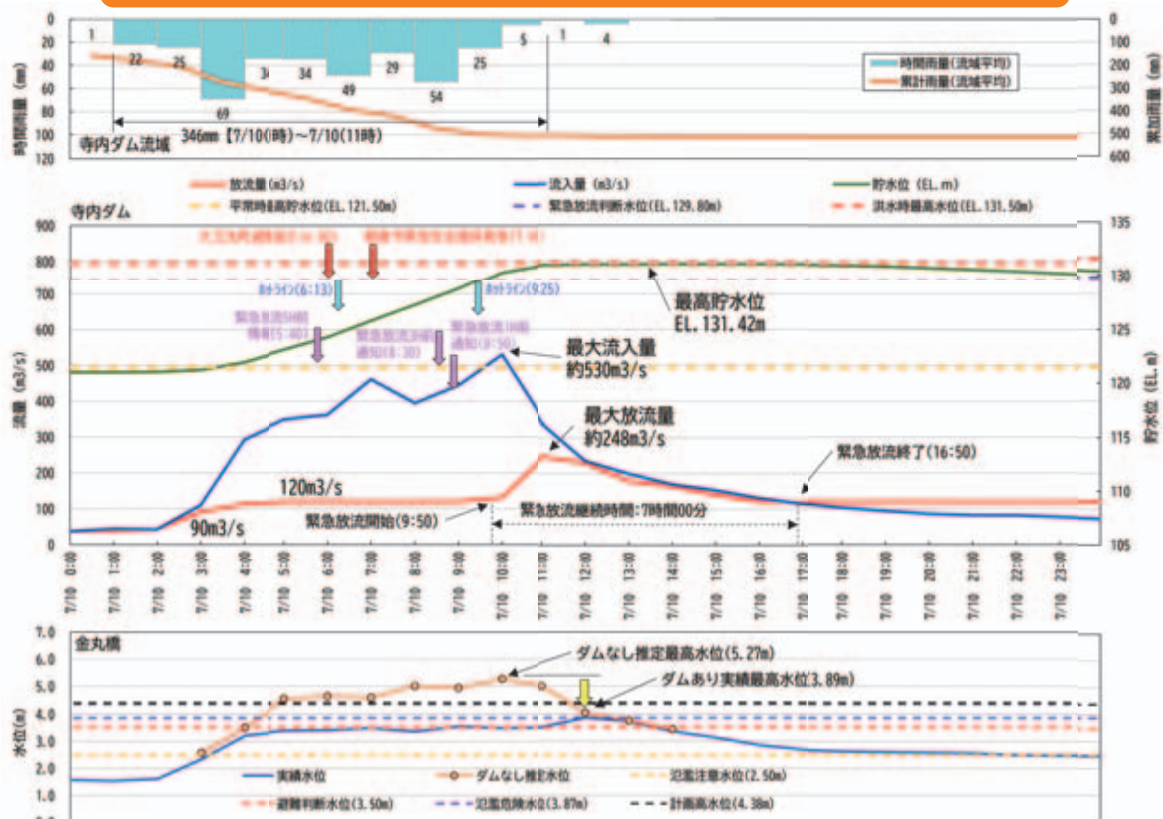
ダムからの放流量を最大毎秒248立方メートルまで増加させた午前11時00分に、流入量と放流量がほぼ同じになり、ダム貯水位を一定に維持する操作に移行、ダム流入量が計画最大放流量(毎秒120立方メートル)まで低減した午後4時50分に緊急放流を終了しました。

計画最大放流量を上回る放流によって下流域に大規模な浸水被害の発生が懸念されましたが、ダム下流の残流域からの流出量が既に低減傾向にあり、ダム下流の金丸橋地点の河川最高水位は3.89m、氾濫危険水位(3.87m)を僅か2cm超過したレベルに抑えられ、深刻な浸水被害を免れることができました。



緊急放流中の寺内ダム

寺内ダム防災操作・緊急放流(異常洪水時防災操作)の状況及び効果





■ダム再生事業の沿革

昭和40(1965)年度	早明浦ダム建設事業に着手
昭和50(1975)年度	早明浦ダム管理開始
平成17(2005)年度	吉野川水系河川整備基本方針 策定
平成21(2009)年度	吉野川水系河川整備計画 策定
	吉野川水系河川整備計画 変更
平成29(2017)年度	吉野川水系における水資源開発基本計画(一部変更)
	早明浦ダム再生事業に関する事業実施計画認可
平成30(2018)年度	早明浦ダム再生事業着手

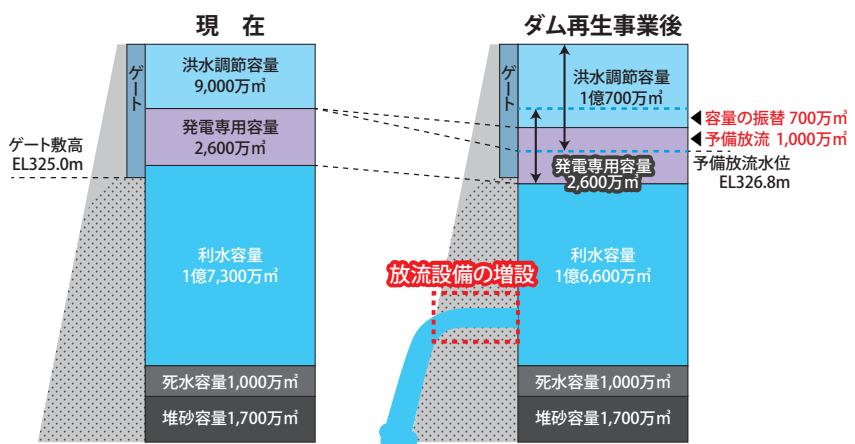
早明浦ダム再生事業完成イメージ

■再生事業記念カード
機構が実施する初の大規模なダム再生事業の工事本格化に当たり、再生事業記念カードを「道の駅土佐さめうら」にて配っております。



■早明浦ダム再生事業の内容

- 容量の振替** ダムからの補給方法を変更して、利水容量のうち700万m³を洪水調節容量に振り替えます。
- 予備放流の導入** 大雨が降りそうとき、あらかじめ水を放流して水位を下げ、洪水に備えます。
- 放流設備の増設** 容量の振替と予備放流を行うことで、ダムの水位が下がり、今のゲートでは適切な量の放流ができなくなるため、放流設備を増設します。



ご覧下さい。



早明浦ダム再生事業による洪水調節の効果について動画で分かりやすく紹介しております。



さ め う ら 早明浦ダム再生事業起工式を開催



8月5日、「早明浦ダム再生事業起工式」を土佐町農村環境改善センター（高知県土佐郡土佐町）において挙行了しました。起工式には、国会議員、国土交通省、県知事、県議会議員・議員、共同事業者、関係機関、施工者、地元小中学生等及び水資源機構の関係者を合わせ約百八十名が参加して行われました。

金尾理事長からは主催者挨拶として、関係者の皆様への感謝の意と、工事中、ダム貯水池運用に支障がないように進め、騒音対策や安全対策など周辺環境への影響を極力軽減すべく、丁寧な施工を心がけ、地域の活性化にも寄与するよう、地元や関係者と協働して取り組んでいくことを述べました。

主催者挨拶に引き続き、来賓より祝辞をいただきました。高知県の濱田知事からは、「本事業が吉野川流域の皆様の安全と安心の向上、地域

生活基盤に多大なる効果を発揮され、良好な生活環境の確保に大いに貢献していくことを確信している。四国の発展の礎となった早明浦ダムの歴史を、そこに関わった地域や人々への感謝の意も含めて、将来にわたってしっかりと語り継いでいきたい。」と挨拶いただきました。香川県の池田知事からは、「香川県にとっては、生活、産業の全てにおいて、早明浦ダムの水なしで

は成り立たない。水源地域の方々への恩を、これからも後世の時代に引き継いで忘れないようにしたい。来年、香川用水が通水し50周年の大きな節目になる。香川用水の歴史と重要性、そして、水源地域への感謝の気持ちを永く後世に伝えるために、様々な行事を行いたい。」と挨拶いただきました。そして、事業概要を説明後、工事施工者代表からのご挨拶をいただき、鉄入れ式とくす玉開披を執り行いました。

今後も水源地域の皆様への感謝の気持ちを常に持ち、関係する皆様と緊密に連携し、しっかりと安全対策、環境対策を執りつつ的確な進捗管理を行うことにより、令和10年度内の事業完了を目指してまいります。



香川県 池田知事



金尾理事長



株式会社大林組 運輸代表取締役兼CEO



高知県 濱田知事



竹田さんによる参加型ワークショップ「みんなの水」



シャワーズとのグリーティング



敷波さんの講演

水の週間実行委員会は、小学生の親子を対象とした「水のワークショップ・展示会」を8月5日に開催しました。TOKYO MX「news FLAG」に出演されている気象キャスター敷波美保さんによる「天気と水循環について学ぼう！」と題した講演、2023ミス日本「水の天使」竹田聖彩さんによる「みんなの水」と題した参加型のワークショップ、水の日応援大使「シャワーズ」によるグリーティングなどを行いました。また、会場では水源地や水循環に関するポスターやパネルを展示しました。



水のワークショップ・展示会



水の日・水の週間の紹介

限りある水資源について私たちができること

©2023 Pokémon. ©1995-2023 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

毎年8月1日は「水の日」とし、この日を初日とする一週間は「水の週間」として、水の貴重さなどに対する関心を高めるための様々な行事が行われています。令和5年度は「水源地」をテーマとしたイベントが開催されました。



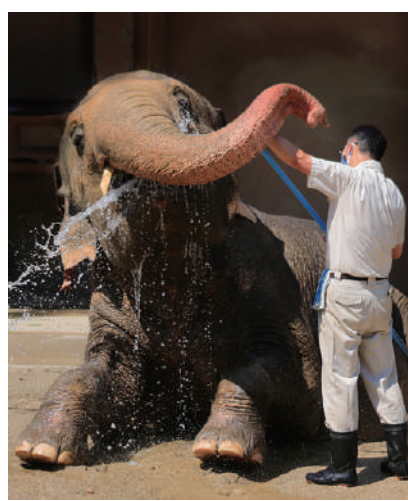
水循環政策本部、東京都及び水の週間実行委員会の主催により8月1日に東京都内で「水を考えるつどい」が開催され、三笠宮瑤子女王殿下より「おことば」をいただきました。今年のつどいでは、中学生による水の作文コンクールの表彰式、「#水源地行ってみた」キャンペーンの活動報告のほか、歌舞伎俳優の市川團十郎さんが取り組んでいるABMORIの活動を紹介した動画上映などが行われました。

水を考えるつどい

水とのふれあい フォトコンテスト

水とのふれあいをテーマとした写真作品を通じて、水資源の有限性や水の貴重さ、水資源開発の重要性を訴える「水とのふれあいフォトコンテスト」を実施しています。今年も多くの水にまつわる作品を応募いただきました。今年の入賞作品は12ページ〜15ページに掲載しています。

プリント部門
グランプリ
国土交通大臣賞



水資源功績者表彰



令和5年度の水資源功績者表彰で水資源機構事業に関わる「生命の水と森の活動センター（岐阜県）」が表彰されました。

地元の小中高生や流域住民の方々が参加する植樹活動や、水源地域の環境を活用した体験学習プログラムの実施に加え、活動センターが主体となって徳山ダムの施設案内を実施するなど、水資源の保全や啓発活動に尽力されたことが認められ表彰されました。

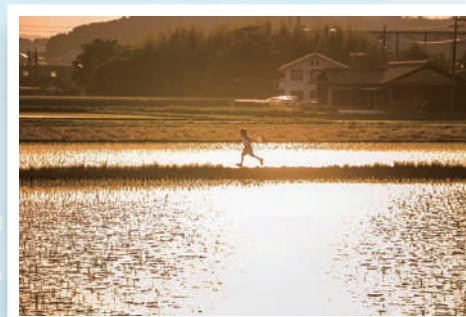
第38回
“水とのふれあい”
フォトコンテスト

入賞作品



SNS部門

グランプリ



水の源をたどる旅

2023ミス日本「水の天使」竹田聖彩さんが知多半島から愛知用水の水源地である牧尾ダムと王滝村まで「水の源をたどる旅」として、愛知用水の水に関わる方へのインタビューのほか、水源地である王滝村を紹介した見どころ満載の動画を公開しています。ぜひ、この機会に水源地を訪れてみてはいかがでしょうか。



全日本中学生

水の作文コンクール

水についての理解や考えるきっかけとして、全国の中学生を対象とした全日本中学生水の作文コンクールを実施しています。今年も国内外から多くの応募があり、内閣総理大臣賞、水資源機構理事長賞などが選出され、8ページに紹介しました「水を考えるつどい」において受賞された中学生に表彰状が授与されました。



受賞された作文については、こちらのQRコードから！



沼田総合管理所
(群馬県)

内閣総理大臣賞受賞の中学生

“首都圏の水がめ”矢木沢ダムで一日所長体験

8月24日、「第45回全日本中学生水の作文コンクール」で内閣総理大臣賞(最優秀賞)を受賞した群馬大学共同教育学部附属中学校3年生の安藤周平さんあんどうしゅうへいに沼田総合管理所の一日管理所長として、矢木沢ダムで仕事を体験していただきました。



安藤周平さんの感想

自分たちが普段なにげなく使っている水がどのようにして作られているのか、また、現場で働いてくださる皆さんの活動内容を知ることができて良い経験になりました。ダムというのは、とても重要な施設であって危険な場所でもあるので、専門家の皆さんがしっかりと日々管理をしているということを実感しました。

この体験を今後の生活にも生かして、しっかりと節水への意識を深めていきたいと思います。





優秀賞

東京都知事賞

早春の台場

東京都港区台場 お台場海浜公園

雪本 信彰

優秀賞

独立行政法人水資源機構理事長賞

宮ヶ瀬ダムの堤体到大接近

神奈川県清川村宮ヶ瀬ダム 遊覧船の中から撮影

高津 弘人



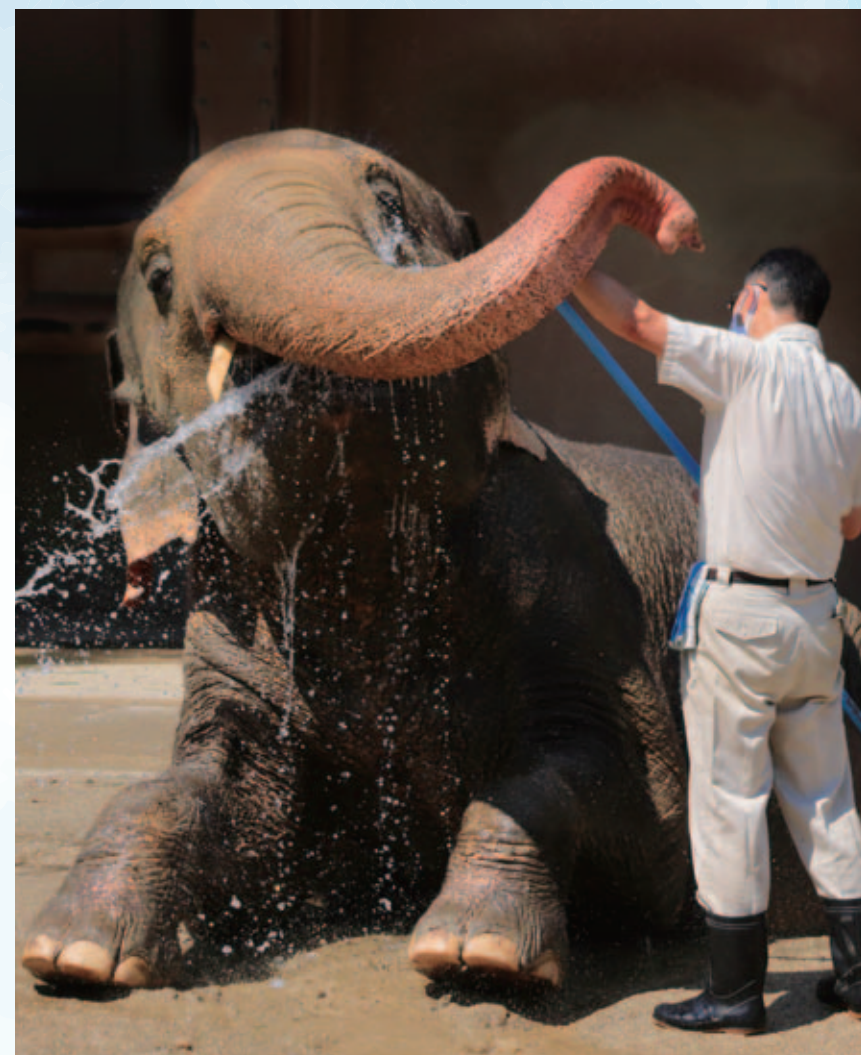
審査員特別賞

赤カブ洗い

福島県南会津町

中村 邦夫

第38回 “水とのふれあい”フォトコンテスト 入賞作品



グランプリ

国土交通大臣賞

暑い日

東山動物園

中村 昭夫

優秀賞

水の週間実行委員会会長賞

給水タイム

岡山県備前市

斎藤 雄宰睦





2023

“水とのふれあい”フォトコンテスト SNS

入賞作品

グランプリ



m.har6210
on instagram

特別賞



ayumi♂
on twitter



fullblast_next
on instagram



怖い!でも行く

苗名の滝

栗本 実



さがり花

石垣島、西表島

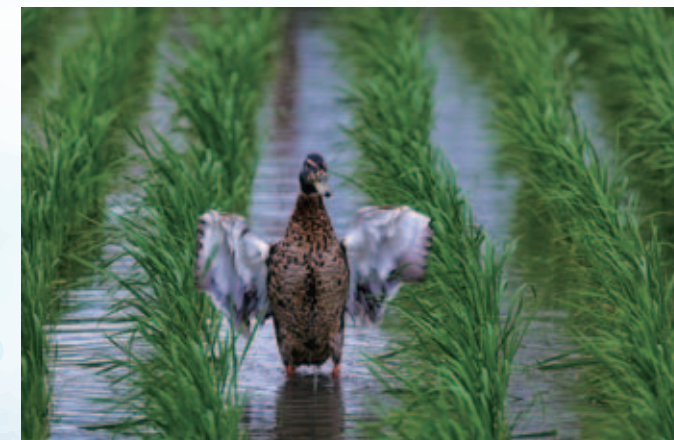
松田 吉夫



清流で産卵

三重県紀北町

今井 寛治



縄張り

佐賀県佐賀市三瀬村

長 吉秀

戯れ

岳切溪谷(大分県)

米田 沙央里



9 しょうれんじ
青蓮寺ダム (三重県名張市)

湖面に“映える”アーチ式ダム

8 徳山ダム (岐阜県揖斐川町)

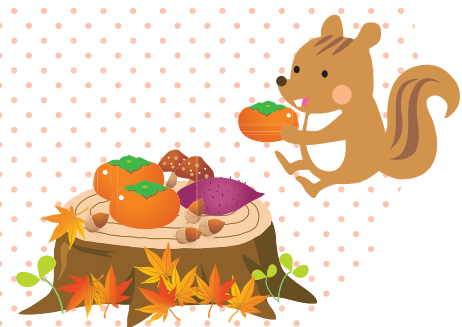
ダム湖周辺の美しい紅葉とともにサイクリング満喫

11 ひとくら
一庫ダム (兵庫県川西市)

紅葉に包まれた一庫ダム

10 日吉ダム (京都府南丹市)

日吉ダムでの秋の爽やかな一日



14 寺内ダム (福岡県朝倉市)

秋の色に染まる寺内ダム

15 筑後大堰 (福岡県久留米市・佐賀県みやき町)

薄紅色の空、夕日に映える筑後大堰

13 とみさと
富郷ダム (愛媛県四国中央市)

さるとび展望広場から望む秋の富郷ダム

12 ほうざん
宝山湖 (香川県三豊市)

紅白の彼岸花に包まれた宝山湖



7 大野頭首工 (愛知県新城市)

紅葉の奥にひっそりと佇む大野頭首工と水面に映える秋の色彩

6 味噌川ダム (長野県木祖村)

やんざわ 柳沢尾根公園から望む、秋の紅葉

5 牧尾ダム (長野県木曽町・王滝村)

おんたけ 御岳湖に映る雄大な御嶽山と鮮やかな紅葉

4 矢木沢ダム (群馬県みなかみ町)

紅葉・ダム・水面の三重奏

3 奈良俣ダム (群馬県みなかみ町)

色鮮やかな紅葉とダムのコラボレーション

2 滝沢ダム (埼玉県秩父市)

滝沢ダム (奥秩父もみじ湖) と紅葉の調和

1 武蔵水路 (埼玉県行田市・鴻巣市)

紅葉したさきたま緑道

各施設の詳細・アクセスについてはQRコードよりご覧ください。



美しい秋を発見しよう！
機構施設周辺の魅力的な風物詩を紹介

自然豊かな環境に包まれた機構施設周辺では、美しい紅葉など秋の風物詩をお楽しみいただけます。各地域を訪ねてすばらしい魅力を発見しましょう。

内藤大智

一庫ダム管理所
2021年度入社
土木職

〈現在の業務内容〉貯水池の管理業務、流量観測や堆砂測量業務の発注・監督、防災業務を担当

〈就職先として選んだ理由と入社して良かったところ〉
水という人間が生きていく上で大事な資源を管理している会社で公共性が高い会社だなと感じたのが機構を就職先として選んだ一番の理由ですね。また、近年豪雨災害が多く、水災害に関するインフラにとっても関心がありました。入社して一番良かったところは、休みやすいところです。帰省のたびに休日に休みをくっつけて長めに帰省しています(笑)。

〈一番印象に残っている業務内容〉
新卒で現場の総務課に配属され、契約業務を主に担当していました。現場は様々な施設を管理しているので仕事の内容が多岐にわたり、仕様書の確認から条文やスケジュールのチェックなど一つ一つの細かい作業で、慣れるまでに一苦労しましたが、自身の携わった仕事で現場での工事等に直接して執り行われていたのが一番印象に残っています。

〈仕事をしていく上で大事にしている所感〉
事務の仕事は、職員の生活に直結しているので、一つ一つの仕事を丁寧に行うように心がけています。まだまだ学ぶことが多く、毎日一つでも多くのことを吸収しようと考えながら仕事をしています。そんな中で優しく、時には厳しくご指導くださる職員の先輩方、同期及び後輩職員に感謝を忘れずに仕事をしていくというのが私の motto です。

〈これから入社を希望する方へのメッセージ〉
水資源機構は水という必要な資源を管理している会社です。インフラや公共性の高い仕事に興味があるならぜひ、チャレンジしてみてください。他にも社会人になると周りの環境に飲まれて自分の思い通りに行かない場面もたくさんあるかと思いますが、そんな時は自分らしさを大切に仕事に臨んでください。

〈就職先として選んだ理由と入社して良かったところ〉
大学で化学分野を主に学んでいたのですが、機構の土木職の応募を見たときはやっていたのか不安でした。ただ、公共性のある仕事でワークライフバランスが良い職場で働きたいと思い就職活動をしていたので、実際に入社してみても、ギャップがなくて働くしやすい会社だと思っています。土木職はまだまだ分からないことだらけですが、一つ一つ自分のものにしていきたいです。

〈一番印象に残っている業務内容〉
今年度から防災業務の担当になり、直属の上司も入れ違いのため、まだ仕事に慣れない中で、洪水期前に2回も防災操作を行ったことが一番印象に残っています。ダムの防災操作は責任感がある仕事で、ミスが許されない中、何事もなく無事に防災操作を終えた時は達成感があります。

〈仕事をしていく上で大事にしている所感〉
機構の仕事は幅広くやったことのない仕事も多々あります。私は良く分からない仕事や嫌だなと思う仕事でも、自分の中にいったん受け入れてやってみるという考えを大事にしています。その気持ちを励みに毎日仕事に取り組み、関係機関から感謝される時は人に役立つ仕事をしていて良かったなとやりがいを感じますね。

〈これから入社を希望する方へのメッセージ〉
就活の軸で人の役に立っている仕事に就きたい方は機構の仕事が向いていると思います。また、ワークライフバランスの充実を希望する方もおすすめです。入社してから最初は分からないことだらけだと思いますが、上司に相談してなるべく早くに悩みを解決してください。そして、若いうちに色々な仕事を経験して自分が得意だなと思う仕事を見つけてください。機構でお待ちしています。



前田瑛子

本社 人事部労務厚生課
2020年度入社
事務職

〈現在の業務内容〉社会保険、財形関係、健康管理などの福利厚生に係る業務など担当

〈就職先として選んだ理由と入社して良かったところ〉
水という人間が生きていく上で大事な資源を管理している会社で公共性が高い会社だなと感じたのが機構を就職先として選んだ一番の理由ですね。また、近年豪雨災害が多く、水災害に関するインフラにとっても関心がありました。入社して一番良かったところは、休みやすいところです。帰省のたびに休日に休みをくっつけて長めに帰省しています(笑)。

〈一番印象に残っている業務内容〉
新卒で現場の総務課に配属され、契約業務を主に担当していました。現場は様々な施設を管理しているので仕事の内容が多岐にわたり、仕様書の確認から条文やスケジュールのチェックなど一つ一つの細かい作業で、慣れるまでに一苦労しましたが、自身の携わった仕事で現場での工事等に直接して執り行われていたのが一番印象に残っています。

〈仕事をしていく上で大事にしている所感〉
事務の仕事は、職員の生活に直結しているので、一つ一つの仕事を丁寧に行うように心がけています。まだまだ学ぶことが多く、毎日一つでも多くのことを吸収しようと考えながら仕事をしています。そんな中で優しく、時には厳しくご指導くださる職員の先輩方、同期及び後輩職員に感謝を忘れずに仕事をしていくというのが私の motto です。

〈これから入社を希望する方へのメッセージ〉
水資源機構は水という必要な資源を管理している会社です。インフラや公共性の高い仕事に興味があるならぜひ、チャレンジしてみてください。他にも社会人になると周りの環境に飲まれて自分の思い通りに行かない場面もたくさんあるかと思いますが、そんな時は自分らしさを大切に仕事に臨んでください。



水資源機構の次代をつなぐ若手職員の皆さんに、就職先に機構を選んだ理由、これから入社を希望する方へのメッセージなどを伺いました。

連載企画
第1回

次代をつなぐ力

池内晃

香川用水管理所
2020年度入社
土木職

〈現在の業務内容〉配水、防災、水質を中心とした施設管理業務を担当

〈就職先として選んだ理由と入社して良かったところ〉
入社前の令和元年度には立て続けに強力な台風が襲来しました。実家周辺も避難勧告が発令されるなど、自分の身の回りにも災害が起こりえると認識を改め、自分で防災に積極的に関わりたか考えたことがきっかけです。また、機構は転勤のため、未だ行ったことがない地域へ行ける事が面白い所だと思っています。

〈一番印象に残っている業務内容〉
最初の赴任先が、ダムを有する水路事務所であり、水力発電設備など様々な設備を管理していました。ここでの配水当番は1年目から1人で、配水操作を任せられます。特に、雨が上がった後の配水操作が難しく、下流にある^{※2}頭首工の水位の減少傾向を見つ、ダムから放流増加量・頭首工への到達時間を考えて配水操作を行ったことが印象に残っています。

〈仕事をしていく上で大事にしている所感〉
私の motto は「自分の健康が一番」でしょうか。機構は少数精鋭の組織です。まだまだ精鋭になれているとは決して言えませんが、現場では一人でも欠員が出ると、業務遂行が困難な場合もあります。そのため、これからも体調が万全な状態を維持して業務にあたりたいと思っています。また、機構の仕事は地域の方々の生活や安全に関わる業務であることから、業務に必要な資格及びスキルを磨いていきたいです。

〈これから入社を希望する方へのメッセージ〉
私は電気関係の大学を卒業しましたが、周囲のほとんどの友達がメーカー勤務になりました。きつとあなたの方と同じ状況でしょう。是非、ご友人との関係を続けてください。給与・賞与の話できつと盛り上がるはずですが、それ以外にも、分野が違ったりするメーカーの仕事の話は、機構で仕事をしていく上で、参考になることもあります。機構の印象はどうでしょうか。私のメッセージで、少しでも機構を知っていただければ幸いです。

〈就職先として選んだ理由と入社して良かったところ〉
河川の景色や水辺の生き物が好きなので、将来は何となく水に関わる仕事に就きたいと思っていました。その後、就職活動において機構を知り、自分の興味や専攻内容と合っていると感じたので就職先として選びました。入社して良かった点は、上司が真つ直ぐに若手の提案を受け入れてくれることです。機構全体としてそのような風通しが良い職場であると感じています。

〈一番印象に残っている業務内容〉
現管理所の職員全員で行う配水操作が印象に残っています。私は本部業務を担当しており、水をいかにして安定かつ速やかに地域の方へお届けするかを考えながら、当日の各班の行動予定の作成や連携した管理所からの遠方操作を行っています。計画どおりに配水操作ができた日の達成感がとても印象に残っています。

〈仕事をしていく上で大事にしている所感〉
日々、誰のために仕事をしているのかを一度振り返ることを心がけています。例えば、^{※3}取水工から^{※4}分水工に水を届けて終わりではなく、その水を誰がどのように使うのかその先まで想像することで、相手に合わせた時間に分水工を操作するなど一工夫に繋がっています。広い視野でものごとの行き着く先を考えてみることで、解決の糸口を見つかるようにしています。

〈これから入社を希望する方へのメッセージ〉
やりたい仕事が無理な方何でもない方、まずは物事を見て聞いて触れることをおすすめします。また、機構は独自のフィールドを持っているので、「興味はあるがよく分からない」は、現場で実体験することにより解決できることが多くあり、この会社の最大の魅力です。是非、興味をこ自身の成長に繋げるきっかけにしてみてください。



藤江宗樹

霞ヶ浦用水管理所
2021年度入社
電気通信職

〈現在の業務内容〉電気通信設備に関わる障害対応等の保守管理、ポンプ設備の配水操作などを担当

〈就職先として選んだ理由と入社して良かったところ〉
入社前の令和元年度には立て続けに強力な台風が襲来しました。実家周辺も避難勧告が発令されるなど、自分の身の回りにも災害が起こりえると認識を改め、自分で防災に積極的に関わりたか考えたことがきっかけです。また、機構は転勤のため、未だ行ったことがない地域へ行ける事が面白い所だと思っています。

〈一番印象に残っている業務内容〉
最初の赴任先が、ダムを有する水路事務所であり、水力発電設備など様々な設備を管理していました。ここでの配水当番は1年目から1人で、配水操作を任せられます。特に、雨が上がった後の配水操作が難しく、下流にある^{※2}頭首工の水位の減少傾向を見つ、ダムから放流増加量・頭首工への到達時間を考えて配水操作を行ったことが印象に残っています。

〈仕事をしていく上で大事にしている所感〉
私の motto は「自分の健康が一番」でしょうか。機構は少数精鋭の組織です。まだまだ精鋭になれているとは決して言えませんが、現場では一人でも欠員が出ると、業務遂行が困難な場合もあります。そのため、これからも体調が万全な状態を維持して業務にあたりたいと思っています。また、機構の仕事は地域の方々の生活や安全に関わる業務であることから、業務に必要な資格及びスキルを磨いていきたいです。

〈これから入社を希望する方へのメッセージ〉
私は電気関係の大学を卒業しましたが、周囲のほとんどの友達がメーカー勤務になりました。きつとあなたの方と同じ状況でしょう。是非、ご友人との関係を続けてください。給与・賞与の話できつと盛り上がるはずですが、それ以外にも、分野が違ったりするメーカーの仕事の話は、機構で仕事をしていく上で、参考になることもあります。機構の印象はどうでしょうか。私のメッセージで、少しでも機構を知っていただければ幸いです。

〈就職先として選んだ理由と入社して良かったところ〉
河川の景色や水辺の生き物が好きなので、将来は何となく水に関わる仕事に就きたいと思っていました。その後、就職活動において機構を知り、自分の興味や専攻内容と合っていると感じたので就職先として選びました。入社して良かった点は、上司が真つ直ぐに若手の提案を受け入れてくれることです。機構全体としてそのような風通しが良い職場であると感じています。

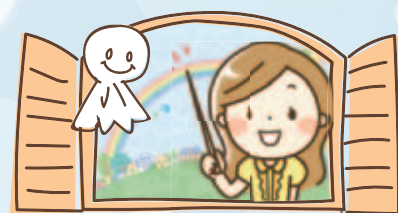
〈一番印象に残っている業務内容〉
現管理所の職員全員で行う配水操作が印象に残っています。私は本部業務を担当しており、水をいかにして安定かつ速やかに地域の方へお届けするかを考えながら、当日の各班の行動予定の作成や連携した管理所からの遠方操作を行っています。計画どおりに配水操作ができた日の達成感がとても印象に残っています。

〈仕事をしていく上で大事にしている所感〉
日々、誰のために仕事をしているのかを一度振り返ることを心がけています。例えば、^{※3}取水工から^{※4}分水工に水を届けて終わりではなく、その水を誰がどのように使うのかその先まで想像することで、相手に合わせた時間に分水工を操作するなど一工夫に繋がっています。広い視野でものごとの行き着く先を考えてみることで、解決の糸口を見つかるようにしています。

〈これから入社を希望する方へのメッセージ〉
やりたい仕事が無理な方何でもない方、まずは物事を見て聞いて触れることをおすすめします。また、機構は独自のフィールドを持っているので、「興味はあるがよく分からない」は、現場で実体験することにより解決できることが多くあり、この会社の最大の魅力です。是非、興味をこ自身の成長に繋げるきっかけにしてみてください。

天気のカタ

私のアメダス巡礼の1ファイル 千葉県我孫子アメダス



みずこし ゆういち
水越 祐一

神奈川県横須賀市出身。気象予報士、防災士。関西テレビ、NHK大阪、JCOM 関西などで気象キャスターを務め、現在はテレビ朝日「大下容子ワイド!スクランブル」の気象情報を担当。

「アメダス」という言葉は、天気予報でもよく登場するのでご存じの方も多いと思います。気温や降水量、風向風速などを自動で観測する測器のことで、降水量を観測している観測所は全国で約1,300か所、このうち約840か所では降水量に加えて気温、風向風速、湿度を観測していて、



我孫子アメダス全景(筆者撮影)

雪の多い地方の約330か所では積雪も観測しています。アメダスは、「Automated Meteorological Data Acquisition System」の略ですが、そのまま頭文字を取ると「AMeDAS」になるところをあえて「AMeDAS（アメダス）」としたところにセンスを感じますね。私たち気象を生業としている人々の中には、「アメダス巡礼」と言って各地のアメダスを見学して回ることを趣味にしている人が少なからずいます。中には全国を行脚しているつわものもいます。私はそこまで熱心な巡礼者ではありませんが、地方に出張に行った時など、つい足を延ばして観測所の見学に行ってしまう。今回はそんな私のコレクションから、1つのアメダスをご紹介します。

今回ご紹介するのは、千葉県我孫子市



雨量計(筆者撮影)



気温計(筆者撮影)

にある「我孫子アメダス」です。高い鉄塔には、地上から高さ10メートルに風向風速計が設置されています。気温計は、細い金属製の筒の中にあつて、ファンが回って常に外の空気を取り入れています。同じく金属の筒に囲まれているのは雨量計で、雪やあられを溶かすためにヒーターがついています。こんなものを見て喜ぶのは気象関係者だけかもしれませんが、ちょっと興味深いと思ったのは、この我孫子アメダスが設置されている場所は芝生の広がる公園の一角で、看板を見ると公園の名前は「気象台記念公園」と言うそうなのです。

アメダスと気象台は違うよな、と思うつ、なぜ「気象台記念公園」と名付けられた



我孫子にあった「気象送信所」
出典：「千葉県近代建造物実態調査報告書」
(千葉県立現代産業科学館)

のか、その由来を調べてみました。この場所には1938年(昭和13年)に「気象送信所」という施設が建てられたそうです。既に日中戦争が始まっ

いて、気象情報は機密事項になっていました。情報通信の核となる気象送信所は非常に重要な施設で、空爆にあつても耐えられるように設計・施工されていたそうです。では、なぜ千葉県我孫子市にその重要な気象送信所が建てられたのか、そこには日本の気象の歴史における重要人物が浮かび上がってきます。「日本気象学の父」とも言われる岡田武松氏です。

岡田氏は1923年〜1941年に第

4代中央気象台長を務め、世界に先駆けた海上船舶の無線通信、地震観測網の整備、全国気象官署の国営移管など日本の気象事業の基礎を築きました。また気象用語「台風」の名付け親でもあり、梅雨のメカニズムを解明した気象学者として世界的にも評価されています。岡田氏の偉業の一端



岡田武松氏
(出典：気象大学校)

衛星通信の発達によって気象送信所はその役割を終えて、1999年(平成11年)に廃止されました。その跡地が公園として整備され「気象台公園」となったのです。アメダス巡礼をしていると、たまに「つわものどもが夢の跡」のような歴史に触れることができるのも魅力の一つです。

を知るエピソードとして、1905年(明治38年)、日露戦争での日本海海戦当日の天気予報があります。この日の天気は、連合艦隊からの有名な電文「本日天気晴朗なれども浪高し」として知られていますが、この元になったのが当時の中央気象台予報課長だった岡田氏の発信した天気予報「天気晴朗なるも浪高かるべし」と言われています。その岡田氏が我孫子市の出身で、「気象送信所」の開設時にここに土地を探して施設を設立することに尽力したそうです。

気象台記念公園
Kisyoudaikinen Kouen

「気象台記念公園」の看板が(筆者撮影)

令和元年台風19号利根川洪水に想う

金尾理事長による講演

～ 第73回利根川治水同盟治水大会 ～

8月4日にライトキューブ宇都宮(栃木県宇都宮市)において、第73回利根川治水同盟治水大会が開催され、金尾理事長より「令和元年台風19号利根川洪水に想う」と題した講演を行いました。

金尾理事長は、利根川における台風19号の出水の状況、渡良瀬遊水地並びに田中、菅生及び稲戸調節池における台風19号による洪水の貯留状況、平成27年9月の関東・東北豪雨による利根川における洪水被害の状況や利根川沿川にある自然災害伝承碑など治水の歴史を紹介し、利根川における治水事業が長年にわたり着実に進められてきたことを説明しました。

さらに、草木ダムにおける台風19号の対応について、洪水に備えて利水容量の事前放流を実施することで水位を下げ、ダムへの流入量ピーク時に洪水調節容量を超える量の貯留を可能としたことで異常洪水時防災操作(緊急放流)を回避した対応についての説明ほか、機構における長時間アンサンブル予測を用いた最新のダム流入量予測に関する取組などを紹介しました。

最後に「台風19号のような豪雨は、当分は来ないだろうという保障は全くありません。そのため台風19号やそれをを超える出水がやってくるかもしれないということを肝に銘じて、待ったなしで利根川治水の処方箋を示さなければならないと感じています。」として講演を締めくくりました。



さいたま打ち水大作戦2023に出展

7月22日にさいたま新都心コクーン広場にて開催したさいたま市主催の「さいたま打ち水大作戦2023」に出展しました。ブースでは水資源機構に関するアンケートのほかノベルティグッズを配布し、多くのご家族連れに喜んでいただきました。中でもペーパークラフトで作ったダムや堰の展示は多くの親子連れに人気で、水を流して遊んでいただき、楽しくダムや堰の仕組みを知ってもらいました。

本社



か さ ど 三重用水の加佐登調整地、宮川調整池 ダムカードを新たに配布開始

三重用水管理所では令和5年4月に管理開始から30年を迎え、これを記念して既存の打上調整池、中里ダム、菰野調整池のダムカードに加え、8月7日より新たに加佐登調整地及び宮川調整池のダムカードの配布を開始しました。

秋のお出かけシーズンに、機構のダムカードを集めてはいかがでしょうか。

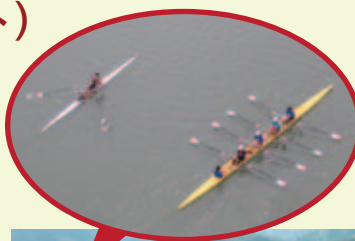
木曽川
水系



配布場所については、
こちらのQRコードから！

日吉ダム湖でローイング(ボート) 競技の強化練習を開催

日吉ダム湖(天若湖)で国体ローイング(ボート)競技の京都代表による強化練習が行われました。京都府は、日吉ダムがある南丹地域において、広域連携プロジェクトの一つとして日本有数のスポーツ健康エリアとしての基盤を活かした地域づくりに取り組んでいます。そんな中、府内にはローイング(ボート)競技の適切な練習場が不足していたことから、水面が安定しておりかつ練習できる十分な距離がある日吉ダム湖で初めて行われました。練習日(8月16日～18日)は、台風通過後の強風や波浪が心配されましたが、当日は鏡面のような穏やかな水面となり、ボートチームの15名の選手が練習に励んでいました。



淀川
水系

水機構ニュース



「水機構ニュース」では、水資源機構からの最新ニュースを中心に、水にまつわるさまざまな情報をお届けします。



読者の声

読者の皆様から寄せられた
「水とともに 2023・夏号」へ
ご意見・ご感想を紹介します

九州北部では最近「線状降水帯」が出現し、河川の流量を調整する必然性が高まっている気がします。本記事では「降水時最高水位の見直し」により「洪水調節容量増大」に触れられており、降水被害の軽減が図られることが期待されると感じました。

(特集 九州が熱か!!)

(50代・男性)

みなかみ3ダム・春の点検大放流、3ダムの特徴がよく表れている迫力ある写真がとてもよかったです。読んでいて放流イベントに行ってみたいという気持ちが高まりました。

(トピックス 首都圏の水がめ)

(40代・女性)

トピックスの「夏だ!ダムカレーを食べに行こう!」はとても興味がわきました。ダムカレーがあることは知っていましたが、ほんの一部だと思っていましたので、各地で販売されていることに驚きました。

(トピックス 夏だ!!ダムカレーを食べに行こう!) (60代・男性)

「シニア力」の杉田さんの「忘れられない・・・」のお話は心に沁みました。地味なお仕事に見えますが、大切な水を守るために長年ご尽力されている方々のお話は若い人にも大変ためになる話だと思います。

(シリーズ シニア力)

(50代・女性)

主な 本号の ご紹介施設

P2

福岡県:寺内ダム

特集 令和5年7月豪雨時における
寺内ダムの洪水調節効果について

P8

群馬県:矢木沢ダム

トピックス 水の日・水の週間の紹介

P23

三重県:加佐登調整池・宮川調整池
水機構ニュース

P23

京都府:日吉ダム
水機構ニュース

P6

高知県:早明浦ダム

トピックス 早明浦ダム再生事業起工式を開催

編集 後記

厳しい暑さが続いておりますが、いかがでしょうか。秋といえば食欲の秋と言われますが、私は秋の食べ物の代表として秋刀魚がぱっと浮かびます。皆さんは何が浮かびますか?

本号では機構施設周辺の魅力的な秋の風物詩を紹介しております。ぜひ、機構施設やその周辺の美しい自然を発見してみてください。また、今年の7月に福岡県の寺内ダムで発生した豪雨に伴う緊急放流を特集し、8月に行った水の日・水の週間も紹介しております。ぜひ、ご覧ください。

編集・発行 独立行政法人 水資源機構

〒330-6008 さいたま市中央区新都心11番地2

総務部広報課 TEL.048-600-6513 (直通) FAX.048-600-6510



ホームページ

<https://www.water.go.jp>



Twitter

https://twitter.com/jwa_pr



Facebook

<https://www.facebook.com/jwaPR>



Instagram

https://www.instagram.com/jwa_pr

安全で良質な水を安定して
安くお届けすること、
それが水資源機構の仕事です

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

ISSN 2187-8048